

平成30年（2018年）第4回町田市議会 定例会 建設常任委員会

【件名】町田市立陸上競技場観客席増設について

1. 趣旨・背景

2018年第1回町田市議会定例会において、本年度当初予算に計上した「観客席増設実施設計委託料」に係る整備工事費の「町田市負担」予定額が未だ過大であり、市民に理解を得る情報提供の徹底と最大限に町田市負担の圧縮を求めるとの附帯決議を受けました。このことを受けまして、課題解決に向けた取り組みについて、報告するものです。

2. 課題解決に向けた取り組みについて

(1) 整備工事に関する情報提供について

- ・町田市ホームページ及び広報まちだにおいて、事業の目的や工事費削減の方策、交通アクセスの改善、FC町田ゼルビアの地域貢献などの情報提供を図っております。
- ・10月に事業概要の説明会、11月に工事説明会を開催し、合計122名の参加をいただき、様々な意見を伺いました。

(2) 整備工事費の町田市負担分の圧縮について

① 国、東京都、関係団体等の各種補助金等の探求

- ・10月と11月にかけて東京都オリンピック・パラリンピック準備局と独立行政法人日本スポーツ振興センターに、改めて制度改正を含め補助金等の支援要請を行いました。

② 当該サッカーチーム運営会社の興業主としての努力（資金面等）勸奨

- ・マッチデーや市民感謝デーの開催等により、ホームゲームの観客総数が昨シーズンの約8万5千人から今シーズンは約10万3千人となり、約1万8千人の増加となりました。なお、11月17日の最終戦では、今シーズン最多の1万13人の来場をいただきました。
- ・11月17日の最終戦では、バス運行の増強、多摩センターへの臨時シャトル便の運行、試合後のイベント開催による帰り時間の分散化等の対応を行い、1万人を超える来場者があつたにもかかわらず、鶴川駅行き直行バスの待ち時間を、目標としている30分以内に抑えることができました。
- ・ふるさと納税とネーミングライツへの対応について、検討を始めています。

③ 民間資本（スポンサー増強、ネーミングライツ等）の活用

- ・ふるさと納税の寄附金を整備費の一部に充てるため、「トップスポーツを観戦できる環境を町田に！」の新規メニューを追加し、11月1日から募集を開始しました。11月26日現在、288万円の寄付を受けております。
- ・ネーミングライツについては、導入に向けた調査や検討を進めており、2018年度中に、募集条件や選定基準等を取りまとめる予定です。

④ 当該事業における費用対効果を最大限にする投資額の適正化

- ・整備費について、実施設計のなかで引き続き適正化に努めております。
- ・8月と11月のラグビートップリーグの試合、各種陸上競技大会、全国少年サッカー大会、まちだ〇ごと大作戦等を開催し、多くの方にご来場いただきました。
- ・その他、ドリームサッカー、全日本大学サッカー選手権等の開催を予定しています。